プロジェクトについて

きぼうときずなは、東京大学医学系研究科教授の大橋靖雄(写真右)が理事長を務める NPO 法人日本臨床研究支援ユニットが東日本大震災直後に立ち上げた被災地住民支援プロジェクトで、主に福島県を中心に支援活動を続けています。福島県や自治体（いわき市・富岡町）からの業務委託を受け、聖路加看護大学を始めとした様々な組織・団体と協力のもと、保健師・看護師を派遣する等の健康支援活動を通して、震災直後から現在まで被災住民支援を続けています 。保健学博士であり女優の石井苗子（写真左）をプロジェクトリーダーとし、被災地で住民の心身の健康をケアする直接的支援に加え、 地域医療の再構築につながる包括的かつ長期的支援を目指しています。

きぼうときずな
プロジェクト

寄付のお願い

きぼうときずなでは 2014 年 4 月からも、いわき市および富岡町からの業務委託を受け、引き続き健康支援を継続していきます。しかしながら、長期にわたる避難生活を強いられる福島県被災住民の支援には、地域医療の再構築を含めた長期的展望が不可欠であり、今後ますます必要となる包括的かつ長期的支援を実現するため、費用調達のための寄付をお願いする次第です。何卒宜しくお願い申しあげます。

きぼうときずな代表
大橋　靖雄

寄付口座

東京都民銀行本店営業部支店
口座番号：普通 4123511
名　義：きぼうときずな
代表 大橋靖雄

きぼうときずな

Hopes & Connections

東日本大震災被災地
住民支援プロジェクト

きぼうときずな
プロジェクト

活動内容

2011 年度

いわき市、富岡町、相馬市との協力関係のもと、保健師・看護師による避難所での支援活動や仮設住宅、借上住宅への戸別訪問活動を実施。派遣した保健師・看護師は延べ１,０７５名、訪問世帯は８,８９６件となった。戸別訪問には韓国の俳優ペ・ヨンジュン氏より寄贈されたきぼうときずな号で巡回した。

2012 年度

いわき市、富岡町と業務委託契約を締結し、仮設住宅や借上住宅の戸別訪問活動や地域の交流会参加活動を継続した。参加した保健師・看護師は延べ４４７名、訪問世帯は３,６１４件となった。

2013 年度

いわき市、富岡町と業務委託契約を更新し活動を継続するとともに福島県との業務委託契約を新たに結び、相双保健福祉事務所いわき出張所の健康調査に協力した。また本年度から介護予防支援にも力を入れ、富岡町の敬老会や検診等での健康イベントの開催や、復興庁「新しい東北」事業である“はまらっせんキッチン”への協力として医師・保健師・栄養士を派遣するなど、その活動は広がりをみせている。

連絡先

NPO 法人
日本臨床研究支援ユニット
きぼうときずな事務局

〒101-0021
東京都千代田区外神田 2-19-3
お茶の水木村ビル 4F

電話番号：0120-778-538
(受付時間 10:00～17:00)